

3年生見学旅行

昨日10日(木)に、3年生は熊本市夢未来河内柑橘選果場と優峰園フルーツランド、熊本市防災センターに見学旅行に行きました。蜜柑選果場は、西日本最大級の選果場です。ここでは、最先端のAI搭載の光センサーシステム(右円内図)で、集荷してきたみかんを瞬時に糖度と酸度を測定していました。子供たち目の前で選別し、ベルトコンベアで運ばれて、箱詰めされているのには驚きました。私たちの食卓に美味しいみかんが届くのは、こういう最先端の技術の賜物だと思います。



優峰園は、一年中果物狩りが楽しめるところで、子供たちは、これからシーズンが始まるみかん狩りを楽しむことができました。美味しいみかん秘訣は「小ぶりなみかん」ということで、夢中になってみかんを採っていました。子供の感想に、「私はカブリーダー(学級園で育てているカブ)をしていて、みかん農家の方が一生懸命育てているみかんを残さず食べたいと思いました。」とあり、生活体験と結び付け考えることができていました。

熊本市防災センターは、災害に強い街づくりを目指して造られています。防災に関する体験型学習空間では、火災体験(煙の怖さや正しい避難の仕方)や地震体験(震度2~7の揺れを体験)、台風体験(風速20メートルの暴風体験)ができます。子供の感想に「『帯西ブルー』の心が伸びました。わけは、地震とかの体験で、怖かったから自分の命をもっと大切にしようと思ったからです。」とあり、これからを生きる子供たちには、とても重要な学びとなったようです。



4年生 福祉を学ぶ

昨日10日(木)、4年生が総合的な学習の時間の中で、「ささえりあ帯山(熊本市高齢者支援センター)」から講師を招き、高齢者疑似体験と車椅子体験をしました。高齢者疑似体験では、高齢者疑似体験セットを付け、手足を動かしくしたり、目も見えにくくしたりする体験セットを身に着けました。こうした身体機能の低下を体感することで、高齢者を理解し、高齢者の気持ちを汲み取るための一助となると思います。



また、車椅子体験では、車椅子を利用している人がどのような不便さ、不安感を味わっているかを具体的に体験しました。高齢者・障害のある方にやさしい社会とは、様々な人にとってもやさしい社会であり、多様な心身の特性や考え方を持つ人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことだと思います。以下は子供たちの感想です。自治協議会や地域の皆様の応援にも感謝します。

- 高齢者体験をして、脇や手を持ってもらうだけで、すごく安心して歩くことができました。道で困っているご高齢の方がいたら、ご高齢の方のペースに合わせて頑張ろうと思いました。
- 高齢者疑似体験では、体が重くて腰が上がらず、支えがないと途中で転がりそうになりました。また、支える側もちゃんとよう導しないといけないことがわかりました。高齢者の人たちが困っていたら、荷物を持つなど、自分にできることは無いかと探してみようと思いました。
- 思っていたより高齢者の方は、普通の生活の中でも苦労されているんだと初めて知りました。もし、道や段差などで困っている高齢者の方がいたら、今日学んだことを生かして、体を支えてあげたり、車いすを押したりして人のためになる行動をしていきたいです。